

魚の顎とカニの顎

魚の顎は上下に動きますが、カニの顎は左右に動きます。

これは、顎の起源がまったく異なるからです。

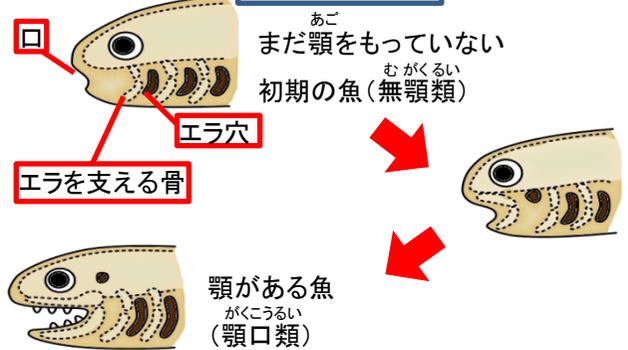
同じようにごはんを食べる場所であるのに、魚の口とカニの口では顎の作りがまったく違います。これは、それぞれの顎がどうやって進化したかに関係があります。

魚の顎は、もともとはエラを支えていた骨が変化してできたものです。そのため、彼らの顎は上下に開きます（正確には下顎だけが動きます）。また、人間を含む脊椎動物の顎はすべて、魚の顎から進化したため、上下に開く構造になっています。

それに対して、エビやカニ、昆虫やムカデなど節足動物の顎は、左右で一对になっている脚が変化してできました。そのため、彼らの顎も左右で一对になっており、左右に開きます。

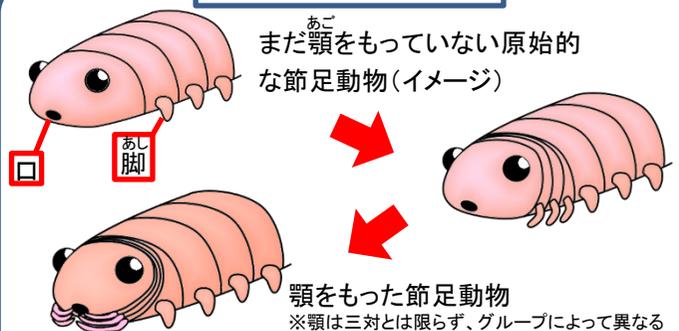
タカアシガニは非常に大きいため、顎の作りを簡単に観察できます。私たちとは全く違う進化をとげてきた彼らを、じっくり観察してみましょう。

魚の顎の進化



魚の顎は、エラを支える骨が移動し、左右の骨がくっついてできた。そのため、上下に開く。

節足動物の顎の進化



節足動物の顎は、脚が変化してできた。そのため、左右で一对になっており、左右に開く。

タカアシガニの口



巨大なタカアシガニの顎
※隠れて見えないが、カニの顎は6対の脚(付屬肢)で構成されており、非常に複雑な作りになっている。